

■ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人間は言葉を使うことで、目に見えないものを共有することができる。たとえば「正義」や「自由」といった概念は、実体があるわけではないが、言葉によって人々の間で意味が通じる。文化人類学では、こうした言葉が社会の価値観や行動に影響を与えることに注目する。

ある部族では、「時間」という言葉が存在しない。そのため、彼らは時計を使わず、太陽の位置や自然の変化によって行動する。これは、私たちが「時間」に縛られて生活しているのとは対照的だ。言葉がなければ、その概念は存在しないかのように振る舞う。つまり、言葉は私たちの世界の見方を形づくっているのだ。

また、言葉は感情や人間関係にも影響を与える。日本語には「空気を読む」という表現があるが、これは集団の調和を重んじる文化を反映している。一方、欧米では「自分の意見をはっきり言う」ことが重視される。言葉の使い方が異なることで、社会のあり方も変わってくる。

言葉は単なる道具ではなく、私たちの思考や行動を導く力を持っている。だからこそ、言葉を学ぶことは、他者の世界を理解する手がかりになる。異なる言語や表現に触れることで、自分の世界の見方も広がっていくのだ。

問 傍線部「異なる言語や表現に触れることで、自分の世界の見方も広がっていく」とありますが、筆者がこのように述べる理由を、「言葉は」という書き出しに続けて、本文中の言葉を使って、六十字以上七十字以内で書きなさい。

(解答例は次のページ)

解説

まずは、入試必勝ポイント③「設問の条件を正確につかむ！」ようにしましょう。今回の問題で問われていたのは、なぜ「異なる言語や表現に触れることで、自分の世界の見方も広がっていく」のかでしたね。書き出しが「言葉は」と指定されているので、こちらもあわせて解答の材料を本文中から探しましょう。

次に、本文の確認をしていきましょう。こちら入試必勝ポイント①「一文の要点(主語・述語)を押さえる!」、②「筆者の主張と補足説明を見分ける!」を使って、本文の構造をチェックしてみると左記のようになります。

人間は言葉を使うことで、目に見えないものを共有することができる。たとえば「正義」や「自由」といった概念は、実体があるわけではないが、言葉によって人々の間で意味が通じる。文化人類学では、こうした言葉が社会の価値観や行動に影響を与えることに注目する。ある部族では、「時間」という言葉が存在しない。そのため、彼らは時計を使わず、太陽の位置や自然の変化によって行動する。これは、私たちが「時間」に縛られて生活しているのとは対照的だ。言葉がなければ、その概念は存在しないかのように振る舞う。つまり、言葉は私たちの世界の見方を形づくっているのだ。

また、言葉は感情や人間関係にも影響を与える。日本語には「空気を読む」という表現があるが、これは集団の調和を重んじる文化を反映している。一方、欧米では「自分の意見をはっきり言う」ことが重視される。言葉の使い方が異なることで、社会のあり方も変わってくる。

言葉は単なる道具ではなく、私たちの思考や行動を導く力を持っている。だからこそ、言葉を学ぶことは、他者の世界を理解する手がかりになる。異なる言語や表現に触れることで、自分の世界の見方も広がっていくのだ。

今回の設問では、傍線部の理由と「言葉は」という書き出しが条件なので、「言葉」についての主張と傍線部の理由を取り出してみると、先のようになります。

・言葉は私たちの世界の見方を形づくっている	・言葉は感情や人間関係にも影響を与える	・言葉は単なる道具ではなく、私たちの思考や行動を導く力を持っている
←以上が理由で	←だからこそ	
異なる言語や表現に触れることで、自分の世界の見方も広がっていく		

この本文の言葉を使って条件に合うように解答をまとめると、次のようになります。

解答例

言葉は私たちの世界の見方を形づくり、感情や人間関係にも影響を与え、思考や行動を導く力を持っていて、他者の世界を理解する手がかりになるから。(六十九字)